

Press Release(2012/11/27)

---

---

## 岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラムの 国際シンポジウムを開催

岐阜大学では、11月30日（金）の13:00から本学講堂にて、岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラムの国際シンポジウムを開催します。今年度は第4回として、岐阜大学・静岡大学・横浜国立大学の3大学合同シンポジウムと一緒にを行います。

本プログラムは、平成21年度科学技術振興調整費「戦略的環境リーダー育成拠点形成」に採択された事業で、学内外の強力な連携協力の下、発展途上国が直面する水質・水資源・農業灌漑用水・生態などの極めて深刻である流域水環境分野の問題を多角的な視野で的確に理解し、戦略的な解決策と発生防止策を設計・施行する環境リーダー（国内リーダーと国外リーダー）の育成を目的としたものです。

国際シンポジウムでは、3名の講演者を迎えまして、水環境関連の基調講演をしていただきます。中国陝西師範大学黄春長教授は、堆積物の記録の調査を通して黄河流域有史以前の大洪水の発生の伝説や事実、そして、大洪水が新石器時代から青銅器時代への移行に及ぼした影響などについて話されます。静岡大学鈴木款教授は、微細スケールという新しいアプローチを通して、サンゴ礁生態系の気候変動に対する応答について紹介されます。国連大学マワホファー・ヴォルカー上席リサーチフェローは、持続可能な生物多様性管理に関するご自身の取り組みについての話をさせていただきます。

また、3大学学生による流域環境に関する研究成果発表のほか、「国際ネットワークと連携」をテーマとした3大学の環境リーダー学生によるパネルディスカッションも設けられ、学生の視点から国際ネットワークと連携の重要性とそのあり方について議論していただきます。

【本件に関する問い合わせ】

岐阜大学学術国際部研究支援課 TEL：058-293-3347